

登録番号 第 20849 号

サンヨール<sup>®</sup>液剤 AL

- 本製品は、長年、農家にご愛用頂いているサンヨール<sup>®</sup>乳剤をご家庭でも使いやすいように希釈したそのまま使  
 特長： えるスプレー剤です。  
 ●この1本で花と野菜のアブラムシ類・コナジラミ等の殺虫と、うどんこ病などの殺菌に効果があります。

サンヨールは米澤化学（株）の登録商標です。

有効成分	DBEDC・・・0.04%	包装	380mL×30
その他化管法該当成分	—		400mL×30 1000mL×16
性状	淡青紫色澄明液体	有効年限	4年
毒性	普通物 <sup>※</sup>	危険物	—

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

## 【適用病害及び使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	DBEDCを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	うどんこ病 べと病 コナジラミ類 アブラムシ類 ハダニ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
トマト	うどんこ病 葉かび病 灰色かび病 コナジラミ類 アブラムシ類 ハダニ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
ミニトマト	うどんこ病 葉かび病 灰色かび病 コナジラミ類 アブラムシ類 ハダニ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
ピーマン	うどんこ病 アブラムシ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
すいか	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
メロン	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	DBEDC を含む 農薬の総使用回数
かぼちゃ	うどんこ病	原液	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内
いちご	ハダニ類 うどんこ病 アブラムシ類	原液	収穫前日まで	6回以内	散布	6回以内 (定植前の苗浸漬は 1回以内)
ばら	アブラムシ類 チュウレンジハバチ 黒星病 ハダニ類 うどんこ病 ナメクジ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
きく	白さび病 アブラムシ類 ハダニ類 うどんこ病 ナメクジ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
ペチュニア	うどんこ病 ナメクジ類 ハダニ類 アブラムシ類	原液	開花前まで	8回以内	散布	8回以内
スターチス	うどんこ病 ナメクジ類 ハダニ類 アブラムシ類	原液	開花前まで	8回以内	散布	8回以内
プリムラ	うどんこ病 ナメクジ類 ハダニ類 アブラムシ類	原液	開花前まで	8回以内	散布	8回以内
パンジー	うどんこ病 ナメクジ類 ハダニ類 アブラムシ類	原液	開花前まで	8回以内	散布	8回以内
さるすべり	うどんこ病 アブラムシ類 カイガラムシ類 ケムシ類 イラガ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
まさき	ツノロウムシ ケムシ類 イラガ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
さざんか	ツノロウムシ ケムシ類 イラガ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
つつじ類	ツツジゲンハイ ツツジコナジラミ ケムシ類 イラガ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	DBEDC を含む 農薬の総使用回数
樹木類 (つつじ類、まさき、さるすべり、 さざんかを除く)	ケムシ類 イラガ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
花き類・観葉植物 (きく、ばら、ペチュニア、 スターチス、プリムラ、パンジー を除く)	うどんこ病 ハダニ類 アブラムシ類 ナメクジ類	原液	-	8回以内	散布	8回以内
日本芝	葉腐病 (ラージパッチ) さび病	原液	-	8回以内	散布	8回以内

### 使用上の注意事項

- (1) ハウスまたは露地栽培で高温時の場合には葉の変色等の薬害を生ずるおそれがあるので、その場合は使用をさけること。
- (2) 多湿下の施設内で使用する場合は、散布した薬液が速く乾燥するように通気性をよくして散布すること。
- (3) スターチス、パンジー、ペチュニア、プリムラに使用する場合は、花卉に変色症状の薬害が生ずるので開花中は使用しないこと。
- (4) ナメクジ類に対して使用する場合は、薬液が虫体にかかるように散布すること。
- (5) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (6) 害虫防除の場合、本剤は界面活性系のため、虫体の気孔・気門閉塞作用によって殺虫効果を生じさせるので、十分量虫体にかかるように散布すること。また、一度の散布で害虫が残った場合には改めて散布して下さい。

### 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 人に向かって噴射しないこと。
- (2) 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4) 散布の際は、保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- (5) 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- (6) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- (7) 本剤を施設内で使用するとき、アルコール濃度が高いため特にアルコールに弱い体質の方は、揮発性ガスにより気分が悪くなったり、酔う恐れがあるので、換気を十分にすること。
- (8) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

### 水産動植物に有毒な農薬については、その旨

本剤は水産動物に影響を及ぼすが、通常の使用方法では問題ない。

### 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

引火性があるので、火気に十分注意すること。

貯蔵上の注意事項-----

- (1) 火気をさけ、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。
- (2) 子供の手の届かない場所に保管すること。